

令和6年3月4日発行

本部だより

全国公立小・中学校女性校長会
会長 宮崎 朋子

〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-13 全日本中学校長会館302号
TEL03-3502-0313 FAX03-3502-0075 E-mail:queen@m9.dion.ne.jp

令和5年度 全国公立小・中学校女性校長会 第2回 理事会

令和6年1月20日(土) 会場:アルカディア市ヶ谷



全国公立小・中学校女性校長会
会長 宮崎 朋子

挨拶に先立ちまして、1月1日の、能登半島地震に際し、被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災地の1日も早い復興そして被災された皆様の生活が1日も早く平穏に復することをお祈り申し上げます。

本日は、校務御多用のところ、令和5年度第2回理事会に御出席いただき、ありがとうございます。理事の皆様には、8月に開催されました全国研究協議大会山口大会の御支援・御協力に心から感謝申し上げます。山口県会長 正木郁子様、実行委員長 富田紀子様をはじめ、山口県実行委員会の皆様と、本日お集まりの理事様の御協力のおかげで、会員の皆様の心に残り、学校経営の示唆に富む、全国研究協議大会を開催することができました。心から御礼申し上げます。

本日の第2回理事会は、今年度の活動を御報告し、来年度の活動方針案や事業計画などについて、皆様に御審議いただき、本会の活動をより活性化させ、発展させるための御意見を頂戴する場です。限られた時間ではございますが、有意義な会合になれば幸いに存じます。

本会の会員も5000名を越え、女性校長の割合が40%を超える地域もあり、女性管理職の活躍の場が広がっていることは大変喜ばしいことです。しかし、10%前後の地域もあり、地域差が大きいという現実を受け止めなければなりません。

一方、企業に目を向けると、女性管理職の割合は増えているものの、役職が上がるに従い、その割合が少なくなり、従業員10人以上、6000社対象の2022年の調査結果では、課長相当職以上の女性の割合は、12.9%でした。国際的にも低い水準で、お隣の韓国では16.3%となっており、日本より割合が高くなっています。

女性管理職の割合が高まらない理由として、教育分野でも企業でも、「育児や介護と仕事の両立が難しい」「管理職になる自分が想像できない」「自分は管理職としての資質がない」などが挙げられています。

また、令和4年度の東京都のアンコンシャスバイアスについての児童、保護者、教員への調査では、子供たちの4割以上が「男の子だから、女の子だから」と、思うことがあると答えています。

以上のことから導き出されるのは、本会の役割がまだまだ道半ばだと言うことです。本会の大きな役割である女性管理職を増やしていくために、家庭と仕事の両立ができる働き方

を実践し、女性管理職のロールモデルを提示し、女性リーダーとしての資質を育てていくことに力を注いでいかなければなりません。また、私たちは、女性管理職を育てることだけにとどまらず、子供たちの性別に対する無意識の思い込みを教育を通して無くしていかなければなりません。

現代では、幼稚園時代から、心と体の性の不一致を子供自身が自覚し、小学校入学時には、保護者から配慮を希望されるケースもあります。今後はこのような対応は、当たり前となっていくはずですが。女性だけでなく、あらゆる差別をなくしていく教育も、一層重要になっていくことでしょう。

しかし、よく考えてみますと、女性が活躍できる社会とは男女に関係なく、すべての人が働きやすく暮らしやすい社会だと言えるのではないのでしょうか。女性管理職の育成が、不平等や差別のない「誰一人取り残されることのない」社会の実現への近道だと考えます。

国立女性教育会館による女性管理職への意識調査では、管理職になってやりがいを感じていて、管理職になってよかったと思っている割合が約95%でした。女性のリーダーを育てながら、性別に対しての無意識な思い込みを払拭し、子供たちが自由な希望を抱ける社会の実現に向けて、私たちの力を発揮し、やりがいのある仕事であるということを示してまいります。

そのためには、まず、校長自らスキルアップのために、学び続けていくことが必要です。まさに、本会の存在意義もこの点にあります。全国の皆様とこれまで以上に絆を強め、情報やアイデアを相互に交流し、それらを自らの学校経営に生かしていきたいと思えます。そして、すべての人が個性を発揮し、自己実現できる社会を創っていくことを目標に、真の男女共同参画社会の実現に向けて、私たちの力を結集してまいります。

本会においては、「知性・感性・品性を大切に」そして、「誠実は奇跡を生む」という言葉が先輩から受け継がれております。私たちはいつもこの言葉を胸に、子供たちと教職員を導いてまいりたいと思えます。

令和6年度は、第74回全国研究協議大会を北海道札幌市で開催いたします。現在、北海道実行委員会の皆様が準備に力を尽くして下さっております。理事の皆様と、歴史と文化、豊かな自然があふれる北海道札幌でお会いできますことを心から願い、私の挨拶とさせていただきます。

このたびの能登半島地震で被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の少しでも早い復興と平穏が戻りますことをお祈り申し上げます。

先日、「競争しなくてもよい社会をつくれる人間を育てる」という意味合いのフレーズを目にしました。これからを生きる子供たちを育てていく上で、私の心に大変フィットするフレーズでした。その場ですぐに確認すればよかったのですが、折悪しく急いでいたこともあり、結局、そのフレーズがどこから出ていたものだったのかは定かではありません。諦めきれず、いろいろと検索して探してみました。残念ながら本来のフレーズを発見することはできなかったのですが、調べる中で、「競争する社会から『共創』する社会へ」というもう一つのフレーズに出会いました。はじめの「競争」は、「きそい、あらそう」の競争で、あとの「共創」は、「ともにつくる、創造する」の「共創」です。

これは、2020年に刊行された、『人新世の「資本論」』の著者である、経済思想家の齋藤幸平さんがあるインタビューで語っていた言葉です。齋藤さんのこの言葉は、これからを生きる子供たちを育てていくために私たちが大切にしたいことを言い当ててくださっているような心持がいたしました。

本会の大会主題は、「自ら未来を切り拓き 共によりよい社会を創る日本人を育成する学校教育の推進」です。この主題に掲げる未来の子供像にも通じる考えだと思います。日々大きく変化する社会において価値観が多様化していく中、誰もが取り残されず、持続可能な社会を創り出し、ウェルビーイングの実現を推進するために大切なことは、勝つか負けるかの2択ではなく、目の前の課題に対して、これまで培ったことを生かし、他者と協働して最適な解決策を見出し、課題を乗り越えていくことです。それは、まさに「競い、争わなくてもよい社会を共に創る」ことではないでしょうか。

未来を生きる人材を育てるといふ、私たちの使命を常に胸に刻み、本会での学びを幾重にも生かしていただきたいと改めて強く思います。本日の理事会で、私たちの絆をこれまで以上に紡ぎ、共に進んでまいりましょう。

皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

報告事項

- 1 令和5年度中間事業報告…………… 庶務部長 山口祐美子
- 2 令和5年度中間決算報告…………… 会計部長 井口美由紀
- 3 令和5年度中間監査報告…………… 監 査 磯田かおり
- 4 第73回 全国研究協議大会「山口大会」報告…………… 山口県理事 富田 紀子
* 1～4は、適切に執行・実施された。

協議事項

- 1 令和6年度活動方針案審議…………… 対策部長 江口 千穂
- 2 令和6年度事業計画案審議…………… 庶務部長 山口祐美子
- 3 令和6年度予算案審議…………… 会計部長 井口美由紀
* 1～3は異議なく、承認された。
- 4 全国研究協議大会開催県・発表県…………… 対策副部長 川辺 章絵
令和9年度 大会開催地区・県 発表地区・県について

大会開催	1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2
九州・大分	中部部・福島	東北・青森	四国・徳島	近畿・和歌山	北海道	中国・岡山

- 5 令和6年8月1日(木)・2日(金)開催 第74回「北海道大会」…………… 北海道理事 鈴木真由美
*大会の目的・主題等、分科会主題・分散会の指導助言者、記念公演等が提案され、承認された。
- 6 令和7年7月31日(木)・8月1日(金)開催 第75回「東京大会」… 東京都理事 山口 麻衣
*副主題設理由の詳細や分科会・分散会協議題等、大会実施計画案について提案され、承認された。
- 7 令和8年7月30日(木)・31日(金)開催 第76回「青森大会」…………… 青森県理事 佐保 美幸
*大会の目的、会場、大会日程、記念講演講師等、大会の素案が提案され、承認された。

選考委員長報告

東京都理事 山口 麻衣

*「全国公立小・中学校女性校長会会則」第二章役員 第6条1～2に則り、令和6年度会長・副会長を次の通り選出した。

会 長	東京都・新宿区立市谷小学校長…………… 井口美由紀
副 会 長	栃木県・那須塩原市立箒根学園校長…………… 山本 幸子
	北海道・札幌市立平岡公園小学校長…………… 山下 尊子
	東京都・世田谷区立弦巻中学校長…………… 加藤 ユカ

監査の選出

九州地区代表理事 榎 まゆみ

*第1回理事会で決定した通り、令和6・7年度の監査は九州地区から推薦された。

監 査	沖縄県・沖縄市立美東小学校校長…………… 仲村 恵子
-----	----------------------------

令和6年度組織運営について

会 長 宮崎 朋子

*令和6年度5部長が次の通り、報告された。

庶務部長	東京都・杉並区立杉並第一小学校長…………… 山口祐美子
会計部長	東京都・千代田区立和泉小学校長…………… 村田 悦子
対策部長	東京都・北区立王子第二小学校長…………… 江口 千穂
広報部長	茨城県・古河市立古河第一小学校長…………… 横濱 元己
研修部長	北海道・札幌市立藻岩南小学校長…………… 近 香奈子

*なお、令和6年度 顧問は、宮崎 朋子 現会長が就任。

*新会長・新役員の挨拶に続き、改めて令和6年度の組織運営について井口新会長から発表があった。

報告・連絡事項

- | | | |
|-----------------------------|---------|-------|
| (1) 各都道府県の活動状況調査依頼について…………… | 対 策 部 | 松本 麻巳 |
| (2) 会報第115号について…………… | 研 修 部 長 | 清水 聡美 |
| (3) 会報第116号について…………… | 広 報 部 長 | 金敷美由紀 |
| (4) 各都道府県会員名簿の提出について…………… | 庶務副部長 | 浮津あゆみ |
| (5) 地区大会について…………… | 対 策 部 | 四家 薫 |
| (6) ホームページについて…………… | 対 策 部 | 増渕 裕美 |
| (7) 表彰状の贈呈について…………… | 対 策 部 | 松本 麻巳 |
| (8) 特別研修について…………… | 庶 務 部 | 荒川比呂美 |

能登半島地震の災害への義援金について

本会冒頭で、1月1日に発生した能登半島地震により犠牲になられた方々に、黙祷を捧げました。心より御冥福をお祈りいたします。

また、被災した皆様の御無事を願うとともに、学校、子供たちが少しでも早く、通常の教育活動ができますように、本会でも、会員の皆様のお力を合わせて支援をしてまいりたいと思います。

義援金について御賛同いただけます会員の皆様につきましては、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

緊急災害募金で集まりましたお金は、今回の地震で被害の大きかった会員の地域を中心に、義援金としてその地区の理事の方を通してお送りいたします。

令和6年度 全国公立小・中学校女性校長会活動方針（案）

全国公立小・中学校女性校長会は、結成以来義務教育の充実・発展に努めるとともに女性管理職の育成並びに女性教員の資質の向上や活躍の場の拡大を目指し、たゆみない研究と実践を重ね、今年74年目を迎えた。その成果は、我が国における女性管理職の登用と女性の社会進出に大きく寄与している。教育改革推進と男女共同参画社会の更なる促進に向けて女性校長に寄せられる期待は大きく、それに応えていくことが本会の使命である。

将来の予測が困難な時代において、持続可能な社会の創り手の育成や、日本社会に根差した教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上、誰一人取り残されず共生社会の実現に向けた教育の推進等が求められている。また、グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成や、教育DXの推進、学校における働き方改革の推進等、新たな教育振興基本計画を踏まえ、「令和の日本型学校教育」の考え方を基盤とし、創意ある教育活動を推進することが重要である。

Society5.0の時代を生きる全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け、新たな価値を創り出し、未来社会を創造する力を身に付けた日本人の育成を目指すために、家庭や地域、社会と連携・協働し、社会に開かれた教育課程の実現を通して教育成果を示していく必要がある。そのためには、いじめ・体罰の根絶、ヤングケアラーへの支援、特別支援教育の充実等の課題を解決し、子供の学びを止めない教育活動を継続できる体制づくりや、頻発する甚大な自然災害発生に際し、自ら身を守り、主体的に行動する防災教育を推し進めていかなければならない。校長は、これらの多岐にわたる課題の解決に向けて学校経営力を高め、全力を傾注し、国民の信託に応えていく責務がある。

そこで、本年度は、本会の研究主題を「自ら未来を切り拓き 共によりよい社会を創る日本人を育成する学校教育の推進」とし、研究・研修活動等に取り組むとともに本会の充実・発展と活動方針の具現化に努めることを目指し、次の活動を重点とする。

1 全国公立小・中学校女性校長会の組織の強化と活動の充実

全国公立小・中学校女性校長会と各地区・各都道府県女性校長会との連携を一層密にし、組織の力を強め、活動の充実を図る。

2 調査・研究活動の充実と創意ある学校経営

「確かな学びとしなやかな心を礎に 未来に向かって共に挑戦する子供を育む学校経営」（令和6年度大会副主題）を推進し、研究に努め、その成果を共有するとともに、各地域・学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの充実を図り、各地域の特性を生かした創意ある学校経営で具現化し、教育成果を示す。

3 創造的な教育課程の充実

GIGAスクール構想を推進し、個別最適な学びと協働的な学びの一体化による知識及び技能の習得を図るとともに、思考力、判断力、表現力等の育成や学びに向かう力、人間性等を涵養するための教育課程の編成・実施・評価・改善、指導方法の工夫・改善を着実に進める。

4 教員の資質・能力の向上

令和の日本型学校教育を担う教員の強みや専門性を生かし、明確な人材育成方針の作成、適切な指導助言、研修体制等の充実を図るとともに、学び続ける教員としての意識を高め、社会から信頼され、尊敬される教員を育成する。

5 学校における働き方改革の実現

教員の勤務実態調査等を踏まえ、部活動の地域連携、支援スタッフの充実、教員定数の改善等、国・教育委員会・学校がそれぞれの立場において取組を着実に推進し、環境整備を行う。また、教員のメンタルヘルスへの対応や校務のデジタル化等の学校DXを推進する。

6 男女共同参画社会の促進

一人一人が個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の促進に積極的に取り組むとともに、女性教員の活躍の場の拡大と女性管理職の育成及び登用の促進を図る。

講演

I 当面する初等中等教育上の諸課題

II 多様な他者と協働し、未来を切り拓く力を育む特別活動

～これからの時代を生きる子供たちに必要な資質・能力を育む～

講師

文部科学省 初等中等教育局 視学官

安部 恭子 様



I 当面する初等中等教育上の諸課題

【新たな教育振興基本計画について】

教育振興基本計画とは、平成18年に全面改正された教育基本法に基づき、政府が策定する教育に関する総合計画であり、今後5年間の国の教育政策全体の方向性や目標、施策などを定めるものである。教育の「不易」としての普遍的な使命を実現するためには「流行」を取り入れる必要があり、将来の予測困難な時代において、教育の羅針盤となるものである。

令和5年6月16日に閣議決定された新たな教育振興基本計画では、「持続可能な社会の創り手の育成」や「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」をコンセプトとし、5つの基本的な方針が示されている。これらを踏まえ、今後中教審答申を経て学習指導要領の改訂が行われるが、各校で、どのように教育課程を編成するかが課題となる。

【GIGAスクール構想の推進について】

一人1台端末の活用、通信ネットワーク等の学校ICT環境の整備だけでなく、GIGAスクール構想において最も大切なことは、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、「教育の質を向上させる」ことである。令和元年から令和2年までに総額4819億円の補正予算を使っているが、ネットワーク回線の不具合、指導者用端末の未整備等の課題も指摘されている。そのため、毎年GIGAスクール構想・学校DX関係の予算を確保することで対応している。地域・学校・指導者によって活用状況に差があるが、学び方そのものを変えていくことが大切である。デジタル教科書の導入についても予算を計上しており、児童生徒の学びの充実や、障害等による学習上の困難を低減するための活用が求められる。

【小学校における35人学級の計画的な整備と高学年の教科担任制の推進について】

一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導体制と安全・安心を保障する教育環境を整備するために、令和3年度から段階的に小学校の学級編制の標準を40人から35人に引き下げている。令和4年度から7年度にかけては、少人数学級及び外部人材活用に関する実証的な調査研究を行い、今後の学校における望ましい指導体制の在り方について検討している。

小学校高学年における教科担任制については、教科指導の専門性をもった教員配置により、授業の質の向上を図ることと、持ちコマ数の軽減や授業準備の効率化による教員の負担軽減をねらい、予定より1年前倒しで実施する。文科省が作成している教科担任制の事例集も各校の実態に合わせて参考にしていきたい。

新しい時代の学びの環境整備として、教職員定数や処遇等の改善も盛り込んでいる。

【学校における働き方改革等について】

令和5年8月の中教審の提言では、働き方改革の目的は、最終的には「子供たちによりよい教育を行うこと」であり、その達成のためには、教師の長時間労働の是正やウェルビー

ングの確保等で教師が自らの人間性や創造性を高めることが必要であると示している。労働法制上も、教師が疲弊しないように、校長・教育委員会には、勤務時間管理を適切に行う責務がある。また、国が先頭に立ち、できることを直ちに行うという考えのもと、緊急的に取り組むべき施策として、学校・教師が担う業務の適正化、働き方改革の実効性の向上、持続可能な勤務環境整備等の支援を充実させることが明文化されている。優れた人材を確保するためにも、教職の魅力向上が必要であり、今後も働き方改革についての議論を進めていく予定である。

【特別支援教育について】

直近10年間で、義務教育段階の児童生徒数は減少しているが、一方で、特別支援教育を受ける児童生徒数は倍増している。さらに、数値には表れていない支援が必要な児童生徒は大勢おり、適切なケアを組織的に行う必要がある。教員養成段階から管理職に至るまで長期的視野に立って、特別支援教育に関わる教師の専門性向上を図り、インクルーシブな学校運営の視点から特別支援教育の充実を図る。

【いじめ・不登校支援対応等について】

いじめの認知件数、自殺者、不登校の児童生徒数は、いずれも過去最多となっている。相談したくてもできないケースもあり、SOSの出し方教育の他、COCOLOプラン事業の前倒し、不登校特例校や学校内外の教育支援センターの設置促進など、支援体制を強化していく。また、生徒指導提要改訂版も参考に各校での組織的な対応を求める。

II 多様な他者と協働し、未来を切り拓く力を育む特別活動

これからの時代を生きる子供たちにどんな力を付けたいか、それはどんな姿であるか、目指す児童の姿を共有化していくことが大切である。

全国学力・学習状況調査の質問紙調査では、毎年「学校に行くのが楽しい」「自分にはよいところがある」の質問に対して、否定的に答える児童生徒が少なからず存在している。この子供たちが、楽しさや自分のよさを感じられるようにするためには、学校に活躍の場があり、何か役割を担って努力の過程を認めてもらう経験が必要不可欠である。新しい教育振興基本計画のコンセプトにある教育に関するウェルビーイングの向上を図るためには、特別活動の各活動の特質を踏まえた指導を通して、自分たちの生活をよりよくするために話し合ったり、互いの意見のよさを生かして解決方法を探ったりしながら、合意形成を図り、協力・実践を通して、自治的能力を育てることが有効である。

また、安心して自分の考えを言える、分からないことを分からないと言える、少数意見も大事にする、みんなで知恵を出し合って解決に向かおうとする学級集団を育てるには、学級経営の充実を図ることが大切である。一人一人のキャリア形成と自己実現を図るべく、特別活動を学級経営、生徒指導に生かし、これからの時代に求められる資質・能力として自発的・自治的な能力を育む教育環境を整えてほしい。

未来をつくる仕事

ガラス造形作家 池本美和 様

小さい頃から、ものづくりが好きだった私は、22歳の時、広島現代美術館で開催された「世界現代ガラス展」で、初めてガラスアート作品に魅了されました。その中で私の好きな上位3作品を選定し作家の経歴を見ると、何と全員『富山ガラス造形研究所』ガラス学校の教授でした。衝撃的な運命を感じて、1週間後には学校視察に行き、即断即決、翌年無事入学してガラス人生が始まりました。現在の作家活動は、吹きガラスの技法によって建築空間の中にガラス作品を設置するコミッションワークやテーブルウェア制作を主軸としています。コミッションワークとは、お客様から作品のイメージの要望を伺い、その内容に沿って作品を制作するものです。主な作品は、2013年マンダリンオリエンタルホテル東浦/上海（メインロビーガラス絵画制作）、2017年銀座レカン/東京（シャンデリア制作）、2023年ヒルトン宮古島リゾート/沖縄（メインロビーオブジェ制作）等があります。このような空間は、デザイナー、ギャラリー関係者、他素材の作家等の協力で完成されます。大変な創造力や時間を必要とする仕事ですが、お客様に感動や生きる喜びをもたらして人生を豊かにする糧になるものであると信じ、この役割に大きな魅力を感じています。

さて私は2001年『第1回現代ガラス展inおのだ（現在の現代ガラス展in山陽小野田）』で準大賞を受賞し、そのご縁で山口県山陽小野田市に移住しました。その後2024年『きららガラス未来館』がオープンして講師を務めています。当館は焼野海岸にある生涯学習施設で、現在サンドブラストやガラスアクセサリ制作など7つの体験ができます。小さいお子さんから年配の方まで、幅広い年齢層の方々が利用され、より一層ものづくりを身近に感じていただいています。中には、何度もリピートされるコアなお客様も多いです。山口県萩市から通ってくださるご夫婦は、作品ができ上がるまでの時間に、海の音に耳を傾けたり、作家とおしゃべりをしたり、作品制作以外の時間も楽しまれています。行き帰りのドライブも含めてちょっとした旅行気分を味わっておられます。いつも心豊かな素敵な時間を過ごされたいらっしゃるお客様に、スタッフ共々幸せを感じています。

その他、地域振興まちづくりの一環として、市民参加型ガラス体験イベント企画を担当しています。2005年に行われた国民文化祭のプレイベントでは、15cm角のガラスに描かれた市内小学生の絵550人分を組み合わせ、縦3m横6mの巨大な夕日のガラス絵画を制作しました。2006年の国民文化祭では、市内311人の5歳児の手形を使って、未来に羽ばたく翼をイメージしたガラスのモニュメントを作成しました。先日、体験された方が自分

のお子さん連れて、「これはお母さんが小さい時に体験したものだよ」と話されている様子を見て、とても嬉しくなりました。また、山陽小野田市民病院の2階には、756人による皆様と一緒に作った、縦1.2m×横5.4mの竜王山と厚狭川のモザイク画が展示されています。2022年、ねたろう保育園には、地域の未就学児と一緒に作ったガラス絵が展示されています。このような活動に目を留めて頂き2022年山口県女性活躍推進知事表彰を受賞させて頂きました。今後も市民の皆様と創造力と感性を育みながら協働し作品制作を行う、山陽小野田市の宝となるような取り組みを続けていきたいと思っています。



今年さららガラス未来館は20周年を迎えます。最初の頃に体験された子供さんたちは、すっかり大人になって、その子供さんと家族でのご来館が増えています。時間の経過を感じるとともに、とても嬉しい美しい光景は当館の喜びであり、何より私たち作家の励みになります。当館のモットーは「でき上がるガラス体験作品の喜びと、完成するまでの時間も楽しい思い出になること＝世界に一つの作品づくり！」を心掛けています。

最後になりますが、数年前から人気沸騰中の子供の手形・足形体験をアレンジしたガラス記念プレート「エナメル絵付け体験」があります。お子さんの手や足にガラス専用の絵の具を塗り、ガラスのお皿に押し当て、それを動物に見立てたり、周りに可愛くデコレーションしたり、世界に1枚だけの愛情たっぷりのプレートを完成させます。電気炉で焼き付けるので、水で洗っても絵の具が取れない利点があります。クチコミで徐々に人気が高まり、お子さんの誕生祝や七五三の記念など、いろいろなシーンで利用されています。この記念プレートが、本市で生まれた全てのお子さんにプレゼントされるといふなど考えています。生まれたての赤ちゃんやお子さんの輝かしい未来に向けて。

ガラス作家が在住する町山陽小野田市では2022年「CLASS GLASS」ガラスアートブランドが誕生しました。日々きらめきを添える作品を当館に展示して絶賛魅力発信中です。ぜひ皆さま一度ご来館下さいませ。

●さららガラス未来館：<https://www.onodaglass.jp>

●株式会社池本美和ガラススタジオ：<https://ikemotomiwa.com>

地区情報交換

【北海道地区】

12月にオンラインで開催した役員会・研修会では、夏の全道研究大会を振り返るとともに、次年度の運営方針や推進計画について審議が行われた。その後、後継者育成に向けた研修や学校経営における実践等、全道15地区の取組を交流し多くの学びを得た。来年度の第74回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会北海道大会の開催に向け、実行委員会事務局会議・運営委員会等において進捗状況の確認や情報共有を行い、チーム北海道一丸となって鋭意準備を進めているところである。

【東北地区】

東北地区は、令和5年7月28日東北大会(福島県大会)が南相馬市で開催され、東北3県合同最後の研修会が盛会のうちに終了した。東北地区理事会・研修会は、1回目は東北大会会場にて対面で行い、2回目も、第2回全国理事会開催に合わせて、対面で実施した。令和6年度から2県だけとなる東北地区の、今後の活動、研修のあり方について話し合い、令和8年度全国大会(青森県大会)の準備に向けて、協力していくことも確認した。

【関東地区】

関東地区では、7月7日に令和5年度総会及び研修会千葉大会を参集型で実施した。子育てシンガーMON氏による「生まれてきてくれてありがとう」の講演会は、大変好評であった。5月の第1回役員・理事研究協議、11月の正副会長会議も埼玉会館において対面開催した。2月の第2回役員・理事会では、令和6年度の総会・研修会(埼玉大会)、令和7年度の神奈川大会に向けての準備を進めていく。

【東京地区】

11月25日に学校経営研修会を参集とオンラインの併用の形で開催し、小・中学校の校長から実践報告、臨床心理士の宮下先生を迎えての講演会とともに、今年度実施した副校長対象のアンケートを基に選んだ小・中学校の副校長と、教育管理職を目指し、力を尽くしていることについての思いを聞く座談会を行った。今後は、活動内容をまとめ、アンケート結果等も併せて掲載した会報を作成する。

【中部地区】

中部地区は本年度、地区研究大会の予定がないため、各県において総会や研修会を実施した。令和6年度中部大会(岐阜大会)の日程は令和6年8月9日に決定した。この研修大会は、中部地区では6年ぶりの参集型の研修会となるが、「無理のない大会」を目指して準備を進めている。第2回中部地区理事会は、全国理

事会開催に合わせて実施し、研修大会の確認と併せ、今後の活動・研修の在り方についても話題とした。

【近畿地区】

令和5年度は4年ぶりに様々な会を参集して行うことができ、各地区の活動も活発に行われた。令和5年7月28日に近畿大会(大阪)を開催して成功裏に終わることが出来た。全国大会への参加も有意義であった。多くの会を通して近畿各理事相互のつながりも密になったことは大きな収穫である。令和6年8月19日の近畿大会(和歌山)に向けて準備を進めている。

【中国地区】

第73回全国公立小・中学校女性校長会 全国研究協議大会・第16回中国地区公立小・中学校女性校長会研究協議大会を、8月3日4日の2日間にわたり、山口県湯田温泉を会場に、開催することができた。全国各地より500名近い校長先生方をご参集くださり、講演会、分科会・分科会等を通して、女性校長の地位及び職能の向上研修ができ、地域や地区を越えて懇親を深めることもできた。成功裏に終了でき、ご協力くださった方々に厚く感謝している。

【四国地区】

四国地区の大会は隔年での開催であるため、今年度は開催されず、現在は愛媛県が、「第27回四国地区公立小・中学校女性校長会研究大会愛媛大会」の開催に向け、令和6年3月に1次案内を発送できるよう準備を進めている。四国各県とも、参集での研修会が開催されるようになり、人材育成や教育課題の解決に向け、各県で積極的な研修を行い、自校での学校経営に活かしている。

【九州地区】

8月2日に開催した第56回九州地区公立学校等女性管理職研究協議会鹿児島大会は500名超(来場者約150名、オンライン参加者400名弱)の参加者であった。閉会後も各県に動画を配信したり他県で当日の講師による講演会を実施したりするなど、「九州はひとつ」を合言葉に更なる親交・研修の深まりが見られた。来年度の福岡大会については、8月8日にハイブリッド型で開催の予定である。

【中学部】

アフターコロナでの学校行事の実施状況、人材育成、学習評価等について情報交換を行った。宿泊や学校行事については、インフルエンザなどの感染症も流行しているが、基本的な感染症対策の上でほとんど実施されている。また、小中連携を図る中で、「小中合同研究会」や「部活動の地域移行・地域連携」の情報交換も行うことができた。

令和6年度

第74回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会 **北海道大会**

**大会主題 自ら未来を切り拓き 共によりよい社会を創る
日本人を育成する学校教育の推進**

～確かな学びとしなやかな心を礎に 未来に向かって共に挑戦する子供を育む学校経営～

期 日 令和6年8月1日(木)・2日(金)

開催地 北海道 札幌市

会 場 京王プラザホテル札幌



分科会主題および分散会協議題

分科会	分科会主題	分散会協議題		提案・司会
第1分科会	「生きる力」を育む 学校経営	①	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の 一体的な充実を図り、 自ら未来を切り開く力を育む学校経営	岡山県
		②	校種間の円滑な接続を見据えた カリキュラム・マネジメントの充実を図り、 主体的・創造的に生きる力を育む学校経営	広島県 (中学部)
第2分科会	教職員の資質・ 能力の向上を図る 学校経営	③	教師としての専門性や指導力の向上を図り、 「教師力」を高める学校経営	福島県
		④	教職員の参画意識・協働意識を高め、 組織の活性化を図る学校経営	鹿児島県
第3分科会	新たな課題に取り 組む創意ある 学校経営	⑤	学校組織マネジメントを生かし、 新たな課題に取り組む創意ある学校経営	愛媛県
		⑥	学校、家庭・地域社会がつながりを深め、 新たな課題に取り組む創意ある学校経営	滋賀県

令和6年度 第1回 理事会のお知らせ

期 日 令和6年8月1日(木) 午前9時30分から

会 場 京王プラザホテル札幌

**第75回 全国公立小・中学校女性校長会
全国研究協議大会
東京大会**

期 日 令和7年7月31日(木)・8月1日(金)

開催地 東京都 目黒区

会 場 ウェスティンホテル東京



訃報 ご冥福をお祈り申し上げます

埼玉県東松山市立高坂小学校 校長 大木 聖子様 (令和6年2月8日 59歳)